

平成27年度 貝毒プランクトン出現状況(8月4日現在)

男鹿半島戸賀湾で、貝毒の原因とされるプランクトン(渦鞭毛藻類 *Dinophysis*属)の出現状況を調査しています。(4月から8月にかけて、計13回)

8月4日の調査では、*Dinophysis fortii*は出現せず、その他の*Dinophysis*属が出現しました。

7月30日に県水産漁港課が行った下痢性貝毒検査では、出荷自主規制値(0.05MU/g以上)を超える貝毒は検出されませんでした。

貝毒原因プランクトン出現状況調査は、本年度は今回が最後となります。今後とも貝毒の状況には注意してください。

調査 月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)			イガイの下痢性貝毒検査結果* (*県水産漁港課調べ)		
			<i>Dinophysis fortii</i>	<i>Dinophysis acuminata</i>	<i>Dinophysis</i> 属 その他	採捕 月日	毒性値 (MU/g)	備考
① 4/7	5m	10.0	20	0	20			
	10m	10.0	0	10	10			
	20m	9.8	0	0	0			
② 4/14	5m	10.5	10	0	10			
	10m	10.4	30	0	0			
	20m	10.3	0	0	0			
③ 4/28	5m	12.5	10	0	0			
	10m	11.6	40	10	10			
	20m	11.5	10	0	0			
④ 5/19	5m	15.3	20	0	0			
	10m	15.1	10	0	0			
	20m	15.0	10	10	0			
⑤ 5/26	5m	15.7	10	0	0			
	10m	15.3	30	0	0	6/4	<0.05	
	20m	14.1	10	0	0			
⑥ 6/2	5m	18.4	0	10	10			
	10m	18.0	10	0	0	6/11	<0.05	
	20m	16.9	0	0	0			
⑦ 6/9	5m	18.8	0	0	0			
	10m	18.6	0	0	0	6/17	<0.05	
	20m	17.8	0	0	10			
⑧ 6/16	5m	19.6	0	0	0			
	10m	18.8	0	10	0	6/24	<0.05	
	20m	17.6	0	0	0			
⑨ 6/30	5m	20.4	0	0	0			
	10m	20.0	0	0	0	7/1	<0.05	
	20m	19.2	0	0	0			
⑩ 7/8	5m	21.3	0	0	0			
	10m	20.9	0	0	0	7/8	<0.05	
	20m	19.0	0	0	0			
⑪ 7/22	5m	24.4	0	0	10			
	10m	23.9	0	0	30	7/16	<0.05	
	20m	22.3	0	0	40			
⑫ 7/28	5m	24.6	0	20	70			
	10m	24.1	0	0	130	7/22	<0.05	
	20m	23.6	0	10	70			
⑬ 8/4	5m	26.9	0	0	80			
	10m	25.6	0	0	80	7/30	<0.05	
	20m	24.3	0	0	10			

なお、警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L(海水1リットルあたり200細胞)以上とされています(安本1993)。